

社協だより

しろいし

～支えあう まちづくり～



～越河地区を元気にしたい!『つながる越河の会』が立ち上がりました～

地道な除草作業

令和4年4月から、越河地区で新たな地域活動が始まりました。「越河地区を元気にしたい」と若い世代が声を上げ、60代・70代の方々を中心にみなさんが協力し合い、越河の大自然の中にヒマワリやマリーゴールドなどのお花畑を作り始めました。

成長する雑草に悪戦苦闘しながらも、みんなでコツコツ除草作業や花の手入れを行っています。

社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- ◆白石市の福祉活動を支える…2P
- ◆住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域を目指して…3P
- ◆24時間テレビチャリティ募金活動・福祉体験学習 七十七愛の募金会助成金贈呈…4P
- ◆高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業…5P
- ◆まちしるべ…6・7P
- ◆お知らせ…8P

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



— 白石市の福祉活動を支える — 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

白石市社会福祉協議会では、令和2年度に寄せられた赤い羽根共同募金のうち、331万5,474円を令和3年度の「ふれあいサロン」への助成や、福祉への関心を高める「福祉体験学習」の支援などに活用させていただきました。

また、令和4年3月の福島県沖地震で「白石市災害ボランティアセンター」を開設した際の運営費助成にも活用され、延べ54人のボランティアの方により36件の破損家財の解体・片付け、落下瓦の処分などの活動が行われ、市民のみなさんの生活再建に役立っています。



▲災害ボランティア活動の様子

高齢者や障害者の支援ために

● ふれあいサロン事業



ふれあいサロンへの「レクリエーショングッズ」貸出
ひまわり会

みんなで楽しく体操
郡山百楽体操会



● 障害者福祉団体への助成

福祉について知っていただくために

● 社協だよりの発行

地域の福祉活動推進ために

● 社会福祉大会事業（3年に1回）

歳末たすけあい募金

令和3年度 4,065,349円

歳末たすけあい募金は、地域で支援を必要とする次の方々に配分しました。

- ひとり暮らし高齢者(75歳以上)
- 寝たきり高齢者の介護者
- 要支援者
- ひとり暮らし高齢者生き生き交流会(令和3年度は中止)



ボランティア活動の支援や

福祉教育のために

● 福祉体験学習への支援



▲視覚障害の福祉体験学習 第二小学校



▲みんなで遊ぼう会 小原小学校

白石市共同募金委員会

白石市福岡蔵本字茶園 62-1
(白石市社会福祉協議会内)

TEL: 0224-22-5210

FAX: 0224-22-1571

E-Mail: info@shiroishi-shakyo.jp



なぜ赤い 羽根？

アメリカやヨーロッパでは、赤い羽根を身に着けている人は勇気や善行のしるしといわれていました。このため、共同募金が始まったころから、鶏の羽根を使うようになりました。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域を目指して

～白石市地域福祉活動計画策定中～

身近な生活課題

みなさんが毎日暮らしているなかで、例えば「困っていることを相談したいけど誰に相談したらよいか分からない」「足腰が弱ってきてお掃除や買い物ができない」「普段車イスに乗って移動しているけどお墓参りぐらいは行きたい」「親の介護をしているけど子どもが小さくて目が離せない」「“不審者に気を付けてね”と言われて学校に行くのが心配だ」といった生活課題への不安や悩みは、ご高齢の方だけでなく、年代や障がいの有無を問わず抱えている方が多くいることと思われま

助け合い環境の変化

かつては、家族構成が多世代であったり、ご近所付き合いが活発に行われるなど、普段のちょっとした困りごとを地域の中で助け合える関係が身近に多くありましたが、急速な少子高齢化で人口が減ったり、就職などにより家族が離れ離れになったりして人と人のつながりが少なくなっていることから、助け合いの環境が変化しています。

現在の取り組み

生活課題は、住宅が建て込んでいる地域と自然豊かな地域など地域によって異なる場合も多いことから、現在社会福祉協議会では、各地区で地域活動を行っている方などにご協力いただいて、生活課題と生活課題の不安・負担軽減のために地域の方々でできる助け合い活動はどのようなものかをお伺いしています。お伺いした内容は地区毎に整理し、白石市で共通する課題や取り組み内容などと合わせた「白石市地域福祉活動計画」として策定し、多くの市民の方に知っていただき、市民のみなさんそれぞれの「私のできることを活動につなげることで、生活課題の不安・負担を少なくし、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくり」を福祉の面からサポートしていくことを目指しています。



【地域の生活課題について話し合うみなさん】

【小原地区生活課題インタビュー】

地域福祉活動計画策定の中心となる地域の生活課題インタビューを小原地区で行い、地域の課題や解決に向けてどのようなアプローチができるのか、どこに協力を求めるべきかなどを話し合いました。



24時間テレビ～愛は地球を救う～チャリティ募金活動 へのご協力ありがとうございました。

ありがとうございます！

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、白石市役所で募金活動のみ実施しました。

令和4年8月26日（金）と28日（日）の2日間に渡りご協力をいただき、「108,649円」の募金が集まりました。

この募金は、すべて24時間テレビチャリティ委員会へ振り込みさせていただきました。

みなさんの温かいご協力ありがとうございました。



福祉体験学習

みんなで遊ぼう会(小原小学校)

6月29日（水）に児童と家族や地域住民の方との交流会が開催され、児童たちがこの日のために準備したアイデア満載の手作りゲームで参加者をもてなしました。



点字体験学習(白石第二小学校)

9月12日（月）に点訳グループ「てんとうむし」のみなさんを講師に招き、3学年の児童が点字のしくみや視覚障害、思いやりの気持ちについて学びました。



白石市ボランティアみなみの会が 「七十七愛の募金会」より助成金をいただきました。

南町地区のボランティア団体「白石市ボランティアみなみの会」の30年にわたる高齢者・子ども・障がい者への幅広い活動とその功績が評価され、「七十七愛の募金会」助成金の贈呈を受けました。

代表の小野ちよさんは、「自分たちのことだけでなく、これまでの先輩方への感謝の気持ちを酌みとりながら、大事に活用させていただきます。」とお話しされていました。

今後もさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

※「七十七愛の募金会」は、地域社会への感謝を表すため1994年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として、七十七銀行役職員の自主的な参加により発足した団体です。

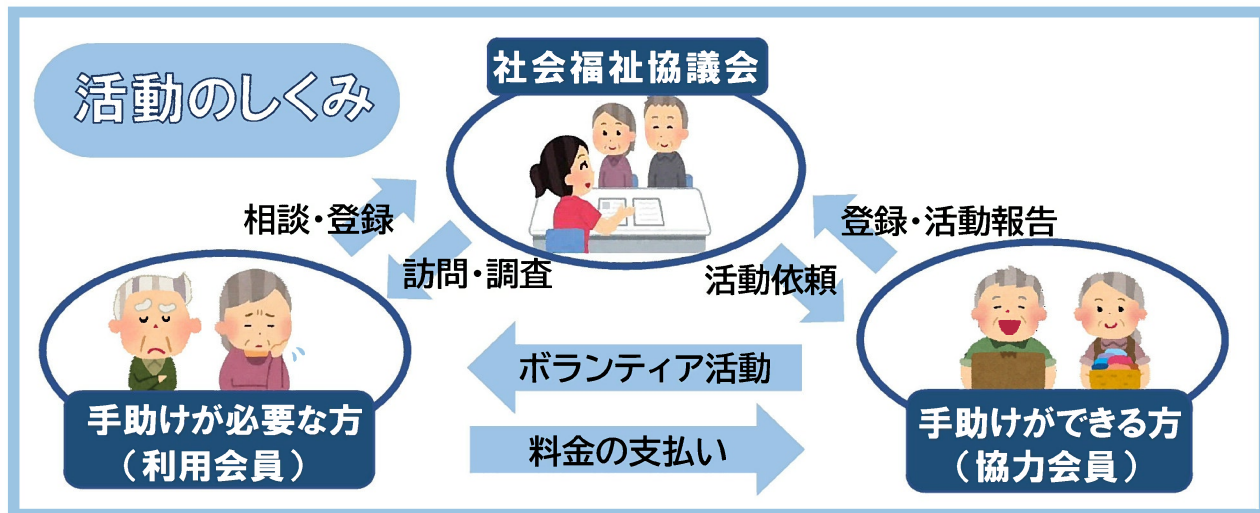


▲助成金目録贈呈
白石市ボランティアみなみの会
代表小野ちよさん(右)



高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業

ひとり暮らしや高齢者だけで生活している方などの「日常生活のちょっとした困りごと」を「人のために何かしたい」という思いをもった方の活動により支援する、住民同士の支え合いによる登録制の有償ボランティアサービスを行っています。



活動内容

家事支援 掃除・整頓、調理、買い物、話し相手など

移動支援 通院や買い物の送り迎えなど（社協の車を使用します。）

料 金

1時間 500円（移動支援は1,000円）、1時間以降30分ごと250円加算

（移動支援は、身体に障害がある方や要介護・要支援認定を受けている方のうち、収入等の要件を満たす方が利用できません。別途ガソリン代の負担あり。）

活動時間

8:30～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

協力会員(ボランティア)募集中

“地域のちょっとしたお手伝い”や“ボランティア活動”に興味がある方・・・日中の空いている時間に活動してみませんか？活動内容は「自分ができる範囲のこと」で構いません。また、日時や内容の調整、保険の加入など、活動中のサポートは事務局で出来る限り行います。

こんな活動をしています！（協力会員の声）

家事支援(掃除・整頓)

掃除機かけなど簡単な掃除のお手伝いをしています。活動中は利用会員さんから教えていただくことも多く、“一方的な奉仕”ではなく“自分のための活動”にもなっていると感じます。



移動支援(病院などの送迎)

空いている時間に自分でも地域で何かお手伝いできることはないか？と思い、活動を始めました。移動支援の活動では、「ありがとう」の言葉が何より嬉しいです。



まちしるべ



生活支援体制整備～大鷹沢地区活動紹介～



生活支援コーディネーター
やっ あやこ
谷津 亜矢子さん

こんにちは。私は『大鷹沢地区生活支援コーディネーター』です！

大鷹沢地区では、公民館などを会場に“誰でも自由に集まり、楽しく過ごせる居場所づくり”に取り組んでいます。

また個々のグループ活動も活発で、その活動の様子や大鷹沢の魅力取材し、広報誌『すまいるおたかさわ』で情報発信をしています。

今年度、大鷹沢第5自治会で『出前サロン』がスタートしました！

～身近なところに、気軽に集える居場所づくり～

“もっとたくさんの人にサロンに参加してほしい…”

“でも、場が遠いと参加できない…”

それなら地域に出向いてやればいい！という思いから、令和4年6月から第5自治会と第二長寿会のご協力のもとスタートしました。

会場に着いたら脳トレプリントが準備されており、時間になるまで同じ地区の知り合い同士、気負わずにおしゃべりしたり、「まちがい探し」や「塗り絵」などを楽しみます。

谷津生活支援コーディネーターによるストレッチ体操で身体をほぐした後は、“ふらば～るボール”や“輪投げ”などのレクリエーション用具で身体を動かしました。



Information

社協では、サロンや地域の集まりなどで使用できるレクリエーション用具の貸し出しを無料で行っています。
みなさん、ぜひご利用ください。

ふらば～るボール：イラストのような不規則な円形のボールを使いバウンドさせたボールをキャッチして運動することができます。



▲脳トレプリントをしている様子



▲軽体操で身体を動かす様子



▲レクリエーション用具で楽しむ様子

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって中止となる場合があります。

※この事業は、「住み慣れた地域」で「自分らしく暮らし続けられるまちづくり」を目指し、介護予防・地域支え合い推進活動の支援を目的としています。



地域の中には、住民主体のサロンや地域活動を通して交流や親睦などを図る活動がたくさんありますのでご紹介します。

体操 さくら

～明るく・楽しい・活動的なサロン～

開催日・場所	月4回 白石市中央公民館
時間	13:30～15:00
会費	月1,000円
活動内容	ストレッチ、筋トレ、有酸素運動など
目的	健康維持と増進、会員同士の交流を図る
運営財源	会費、社協助成金



活動を開始して今年で7年目を迎えた体操さくらは、平均年齢74歳のシニアサークルです。

無理なく運動習慣が身に付き、週1回顔を合わせることが楽しみとなり、とても賑やかに活動をしています。毎年講師の指導のもと、体力測定も行っており、体力維持に努めています。

白川小奥環境資源保全隊

～環境の保全に視点をおいた地域づくり～

白川小奥環境資源保全隊は、平成19年に立ち上がりました。

保全隊では、白川小奥地区内の農地・農業用水などの資源の保全管理や農村環境の保全を行い、また定例会を定期的に開催して、事業の報告、年間計画の進捗状況、課題などについて話し合っています。

今回の実際に小川に入って生き物を調べたり、魚をとったりする夏の恒例行事「小川と仲良くなろう」は、保全隊の活動の一環。とても人気のあるイベントで、今年で15回目の開催です。

“小川にはどんな生き物がいるのかな”、直接自然と触れ合うことで、自然環境についての理解を深めることができます。

代表のおのたくま小野琢磨さんは「川はみんなのもの。ふるさとの川を守り、美しい川にしていこう。」と言った男の子の言葉を胸に、活動の小さな輪を大切に、これからも継続していきたい。」と話されていました。



「小原柿渋作りを楽しむ会」

～地域の方と小原小学校の世代間交流～

小原「柿渋作りを楽しむ会」の活動に小原小学校の児童3名が参加し、地元の人たちと一緒に柿渋作りを体験しました。

手作業で一つ一つ青柿のヘタを取り細かくカットし、ミキサーにかけて布でこす作業はとても力が必要です。

子どもたちは、参加した地元のみなさんに教えてもらいながら、一生懸命取り組んでいました。

みんなで仕込んだ柿渋は、毎日かき混ぜる作業を行い、3年ほど発酵・熟成させた後、クラフトペーパー作品や石鹸などに使われます。



▲青柿の切り分け作業
◀布でこす作業




お知らせ

令和4年度白石市生活支援体制整備事業研修会

～一人ひとりの“できること”からつながり支え合う地域をめざす～

地域での支え合いの大切さやフレイル予防のために、普段の生活でできる健康維持のヒントを知り、自分で取り組めることを実践し元気な暮らしを続けるため、楽しく学び理解を深めましょう。

第1回目 10月25日(火) 10:00 ▶ 11:30	第1部研修会「健康で生き活きと暮らし続けるために」 【講師】白石市地域包括支援センター 歯科衛生士 <small>こせき</small> 小関 <small>ちはる</small> 千晴 氏 第2部音楽鑑賞会 【ピオラ演者】アンサンブルシャブレ <small>さとう</small> 佐藤 <small>まゆみ</small> 氏	
第2回目 11月8日(火) 10:00 ▶ 11:30	第1部研修会「健康で生き活きと暮らし続けるために」 【講師】宮城県理学療法士会 理事 <small>つばた</small> 坪田 <small>ともこ</small> 朋子 氏 第2部音楽鑑賞会 【声楽家】テノール歌手 <small>あづま</small> 我妻 <small>けんた</small> 健太 氏	

場 所：白石市中央公民館大ホール

参加費：無料 ※新型コロナウイルスの感染状況などにより開催を中止させていただく場合があります。

令和4年度特別賛助会員のご紹介

白石市社会福祉協議会では、地域福祉事業推進の趣旨に賛同された白石市内の法人・団体に特別賛助会員としてご支援いただいておりますのでご紹介いたします。ありがとうございます。

- | | | |
|--------------------|----------------------|-------------------|
| (有)鈴木組 様 (白石) | 老人保健施設あさくらホーム 様 (白石) | (有)井熊自動車工業 様 (大平) |
| (株)岡崎商店 様 (大平) | (有)小熊自動車整備工場 様 (大平) | 佐藤進板金(株) 様 (大平) |
| 愛知電機(株)東北工場 様 (白川) | 羽山砕石(株) 様 (白川) | (株)ホテルいづみや 様 (小原) |
| (有)旅館しんゆ 様 (小原) | | |

あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

♡ご寄付の御礼

- | | |
|---------|------|
| ●大野 昌 様 | 玄米5袋 |
| ●匿名希望 様 | 玄米1袋 |
| ●匿名希望 様 | 玄米3袋 |



▲フードバンク事業

レトルト・インスタント食品や玄米など消費期限が長い食品のご寄付をお願いします。(いただいた食品はフードバンク事業に活用しています。)

自動販売機売上げ金額の一部が寄付されました。この寄付は、福祉事業に活用させていただきます。

- トーカドエナジー(株)白石工場 様 5,243円
- 東北電力ネットワーク(株)白石電力センター 様 3,092円



(令和4年6月1日～令和4年8月31日)



社会福祉法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231宮城県白石市福岡蔵本字茶園62-1

(白石市総合福祉センター内)

TEL: 0224-22-5210 FAX: 0224-22-1571 しろいし社協

生活総合相談: 0224-22-2130

OE-mail: info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <https://shiroishi-shakyo.jp/>

公式Facebookもぜひご覧ください。



しろいし社協 検索

